

特別講演 2

「学会では教えてくれない！アトピー性皮膚炎の正しい治療法」

帝京大学 名誉教授

浦和スキンケアクリニック 名誉院長

渡辺 晋一 先生

私が皮膚科に入局した 40 年前は、重症アトピー性皮膚炎患者はほとんどいなかった。しかし脱ステロイド療法が提唱され、重症アトピー性皮膚炎患者が増えた。その後脱ステロイド療法への見直しが行われたが、また再び重症アトピー性皮膚炎が増えてきた。そこで難治性アトピー性皮膚炎患者が受けていた治療をみると、保湿剤を全身に外用した後にステロイドを患部だけに外用するとか、あるいはステロイド外用薬を保湿剤と混合して使用するなど、今までの皮膚科教科書には記載がなく、しかも世界標準治療のステロイド外用療法とは異なるものであった。このような治療を受けていた難治性アトピー性皮膚炎患者を、最も強力なステロイド外用薬で治療すると、2～3週間程度で良くなり、痒みも劇的に消失し、その後のコントロールも容易である。そこで学会等で繰り返し述べられている減ステロイド療法の問題点を世界標準の皮膚科教科書や欧米のガイドライン、またはコクラン・レビューで検証した。